



プロビジョニング API

この章では、チャンネルプロビジョニング API、ロケーションプロビジョニング API、Content Engine プロビジョニング API、プログラム API、およびこれらの API が実行する servlet 動作について説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- [チャンネルプロビジョニング API の動作 \(p.3-2\)](#)
- [ロケーションプロビジョニング API の動作 \(p.3-12\)](#)
- [Content Engine プロビジョニング API の動作 \(p.3-13\)](#)
- [プログラム API の動作 \(p.3-16\)](#)

チャンネル プロビジョニング API の動作

チャンネル プロビジョニング API は、ChannelApiServlet と記述します。

構文

https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet...

この servlet は、次の動作の 1 つまたは複数を実行します。

- [createChannel](#)
- [addManifest](#)
- [assignCEs](#)
- [assignDGs](#)
- [fetchNow](#)
- [modifyChannel](#)
- [modifyManifest](#)
- [unassignCEs](#)
- [unassignDGs](#)
- [deleteChannels](#)
- [createContentProvider](#)
- [modifyContentProvider](#)
- [deleteContentProvider](#)
- [createWebSite](#)
- [modifyWebSite](#)
- [deleteWebSites](#)

createChannel

チャンネルを作成します。

パラメータ

- チャンネル名 (必須)
- 指定のチャンネルに関連付けられた Web サイト ID (必須)
- weak 認証 (任意) — デフォルトは false です。
- 暗号化のスキップ (任意) — デフォルトは false です。
- チャンネル優先順位 (任意) — デフォルトは normal です。
設定値は次のとおりです。
 - High (高い)
 - Normal (普通)
 - Low (低い)
- マルチキャストの有効化 (任意) — デフォルトは false です。
設定値は次のとおりです。
 - true — ユニキャストのみ
 - false — ユニキャストおよびマルチキャスト
 - unicast_only — ユニキャストのみ
 - multicast_only — マルチキャストのみ

- unicast_multicast — ユニキャストおよびマルチキャスト
- チャンネルに関する記述（任意）— デフォルトは null です。
- ライブ（任意）— デフォルトは false です。

結果

新規に作成されたチャンネル ID

**(注)**

ACNS 5.3 ソフトウェアには、チャンネルを作成して、マルチキャストクラウドに割り当てる API は用意されていません。Content Distribution Manager GUI を使用して、チャンネルをマルチキャストクラウドに割り当ててください。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=createChannel&channel=<channel_name>&website=<website_ID>[&weakCert=<true | false>][&skipEncrypt=<true | false>][&priority=<high | normal | low>][&mcastEnable=<true | false | unicast_only | multicast_only | unicast_multicast>][&desc=<description>][&live=<true | false>]
```

addManifest

マニフェスト ファイルを指定のチャンネルに追加します。

パラメータ

- チャンネル ID（必須）
- マニフェスト URL（必須）
- Quota（割り当て量）（必須）
- TTL（必須）— 分単位
- ユーザ ID（任意）
- ユーザ パスワード（任意）
- ユーザ ドメイン名（任意）
- 非基本認証（任意）— デフォルトは false です。
- 非プロキシ（任意）— デフォルトは false です。
- プロキシ IP アドレスまたはホスト名（任意）
- プロキシポート（任意）
- プロキシユーザ名（任意）
- プロキシパスワード（任意）
- プロキシ NTLM ユーザ ドメイン名（任意）
- プロキシ非基本認証（任意）— デフォルトは false です。

結果

更新されたチャンネル レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=addManifest&channel
=<channel_ID>&manifest=<manifest_URL>&quot=<quota>&ttl=<ttl>[&user=<user_name>][&password=
<password>][&userDomainName=<user_domain_name>][&notBasicAuth=<true|false>][&noProxy=<true|f
alse>][&proxyIpHostname=<proxy_ip_hostname>][&proxyPort=<proxy_port>][&proxyUser=<proxy_user>
][&proxyPassword=<proxy_password>][&proxyNtlmUserDomainName=<proxy_ntlm_user_domain_name
>][&proxyNotBasicAuth=<true|false>]
```

assignCEs

Content Engine を指定のチャンネルに割り当てます。

`assignChannel` 動作がすでに使用されている場合は、この動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムに割り当てられている場合、`assignCEs` 動作は正常に実行されますが、警告メッセージが返されます。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- ルート Content Engine ID (ルート Content Engine が割り当てられていない場合は必須。それ以外の場合は任意)
- Content Engine のリストまたはキーワード **all** (下記のルールを参照)
- クラスタのリストまたはキーワード **all** (下記のルールを参照)

ルール

- Content Engine パラメータ リストを **all** に設定している場合、クラスタ リストを指定することはできません。
- クラスタ リストを **all** に設定している場合、Content Engine リストを指定することはできません。
- Content Engine リストとクラスタ リストを、同時に **all** に設定することはできません。

ルールに違反すると、エラーメッセージが返されます。

結果

なし



(注)

Content Engine とクラスタは、1 対 1 の関係で対応しています。クラスタは Content Engine の周囲に配置されたラッパーとして見なされます。

Content Engine を割り当てる場合、次のオプションから 1 つを指定します。

- Content Engine のリスト
- すべての Content Engine
- クラスタのリスト
- すべてのクラスタ
- Content Engine とクラスタのリスト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=assignCEs&channel=
<channel_ID>[&rootCe=<root_CE_ID>][&ce=all | <CE_ID>,<CE_ID>, ?[&cluster=all |
<Cluster_ID>,<Cluster_ID>, ...]
```

assignDGs

指定のチャンネルにデバイス グループ (DG) を割り当てます。

assignChannel 動作がすでに使用されている場合は、この動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムに割り当てられている場合、**assignDGs** 動作は正常に実行されますが、警告メッセージが返されます。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- ルート Content Engine ID (ルート Content Engine が割り当てられていない場合は必須。それ以外の場合は任意)
- デバイス グループのリスト (必須)



(注) デバイス グループの中には Content Engine が含まれていないものがあるので、キーワード **all** は使用できません。

結果

なし

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=assignDGs&channel=
<channel_ID>[&rootCe=<root_CE_ID>]&dg=<DG_ID>,<DG_ID>, ...
```

fetchNow

マニフェスト ファイルを即時に取得します。

通常、マニフェストの **ttl** (Time-to-Live; 存続可能時間) 値は、適正な値 (30 分など) に設定されています。この **servlet** は、通常の **ttl** インターバルが指定のチャンネルで期限切れになる前に、マニフェスト ファイルのフレッシュネスを強制的にチェックします。変更されたマニフェスト ファイルは分析され、コンテンツが処理されます。マニフェスト ファイルに対する変更を即時に処理する場合は、**fetchNow** 動作を使用します。

パラメータ

チャンネル ID (必須)

結果

なし

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=fetchNow&channel=
<channel_ID>
```

modifyChannel

チャンネル設定値を変更します。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- チャンネル名 (任意)
- weak 認証 (任意)
- 暗号化のスキップ (任意)
- チャンネル優先順位 (任意)
設定値は次のとおりです。
 - High (高い)
 - Normal (普通)
 - Low (低い)
- マルチキャストの有効化 (任意)
設定値は次のとおりです。
 - true — ユニキャストのみ
 - false — ユニキャストおよびマルチキャスト
 - unicast_only — ユニキャストのみ
 - multicast_only — マルチキャストのみ
 - unicast_multicast — ユニキャストおよびマルチキャスト
- 説明 (任意)
- ライブ (任意)



(注) パラメータを指定しない場合、元のチャンネル設定値は変更されません。

結果

更新されたチャンネル レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=modifyChannel&channel=<channel_ID>[&channelName=<channel_name>][&weakCert=<true | false>][&skipEncrypt=<true | false>][&priority=<high | normal | low>][&mcastEnable=<true | false> | unicast_only | multicast_only | unicast_multicast][&desc=<description>][&live=<true | false>]
```

modifyManifest

マニフェスト ファイルの設定値を変更します。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- マニフェスト URL (任意)
- Quota (割り当て量) (任意)
- TTL (任意)

- ユーザ ID (任意)
- ユーザ パスワード (任意)
- NTLM ユーザ ドメイン名 (任意)
- 非基本認証 (任意) — デフォルトは `false` です。
- 非プロキシ (任意) — デフォルトは `false` です。
- プロキシ IP アドレスまたはホスト名 (任意)
- プロキシポート (任意)
- プロキシユーザ名 (任意)
- プロキシパスワード (任意)
- プロキシ NTLM ユーザ ドメイン名 (任意)
- プロキシ非基本認証 (任意) — デフォルトは `false` です。



(注)

パラメータを指定しない場合、元のマニフェスト ファイルの設定値は変更されません。パラメータ値を削除する必要がある場合は、“空ストリング”メカニズムを使用して既存の設定を削除します。たとえば、もともとチャンネルに設定してあったマニフェストを削除するには、`modifyManifest` 動作を使用するときにマニフェスト パラメータを空のストリング (`manifest=""`) に設定します。

マニフェスト URL を `null` に設定すると、他のすべてのパラメータ設定値が削除されます。

結果

更新されたチャンネル レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=modifyManifest&channel=<channel_ID>[&manifest=<manifest_URL>][&quot=<quota>][&ttl=<ttl>][&user=<user_name>][&password=<password>][&userDomainName=<user_domain_name>][&notBasicAuth=<true | false>][&noProxy=<true | false>][&proxyIpHostname=<proxy_ip_hostname>][&proxyPort=<proxy_port>][&proxyUser=<proxy_user>][&proxyPassword=<proxy_password>][&proxyNtlmUserDomainName=<proxy_ntlm_user_domain_name>][&proxyNotBasicAuth=<true | false>]
```

unassignCEs

指定のチャンネルから Content Engine を削除します。

`unAssignChannel` 動作がすでに使用されている場合は、この動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムに割り当てられている場合、`unassignCEs` 動作は正常に実行されますが、警告メッセージが返されます。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- Content Engine のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須 (下記のルールを参照)
- クラスタのリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須 (下記のルールを参照)

ルール

- Content Engine リストを **all** に設定している場合、クラスタ リストは指定できません。
- クラスタ リストを **all** に設定している場合、Content Engine リストは指定できません。

- Content Engine リストとクラスタ リストを、同時に **all** に設定することはできません。ルールに違反すると、エラーメッセージが返されます。

結果

なし

**(注)**

Content Engine とクラスタは、1 対 1 の関係で対応しています。クラスタは Content Engine の周囲に配置されたラッパーとして見なされます。

チャンネルから Content Engine を削除する場合、次のオプションから 1 つを指定します。

- Content Engine のリスト
- すべての Content Engine
- クラスタのリスト
- すべてのクラスタ
- Content Engine とクラスタのリスト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=unassignCEs&channel=<channel_ID>[&ce=all | <CE_ID>, <CE_ID> ...][&cluster=all | <Cluster_ID>, <Cluster_ID>, ...]
```

unassignDGs

デバイス グループを指定のチャンネルから削除します。

unAssignChannel 動作がすでに使用されている場合は、この動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムから削除されている場合、**unassignDGs** 動作は正常に実行されますが、警告メッセージが返されます。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- デバイス グループのリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

なし

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=unassignDGs&channel=<channel_ID>&dg=all | <DG_ID>, <DG_ID>, ...
```

deleteChannels

チャンネルを削除します。

パラメータ

チャンネルのリストまたはキーワード **all** のいずれか (必須)

結果

なし

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=deleteChannels&channel=all | <channel_ID>, <channel_ID> ...`

createContentProvider

コンテンツ プロバイダーを作成します。

パラメータ

- コンテンツ プロバイダー名 (必須)
- 説明 (任意)
- 主な連絡先名 (任意)
- 主な連絡先の電話番号 (任意)
- 主な連絡先の E メール (任意)

結果

コンテンツ プロバイダーが新規に作成され、そのコンテンツ プロバイダーの連絡先情報が保存されたことの確認

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=createContentProvider&name=<content_provider_name>[&description=<description>][&contactName=<primary_contact_name>][&contactPhone=<primary_contact_phone>][&contactEmail=<primary_contact_email>]`

modifyContentProvider

コンテンツ プロバイダーの設定値を変更します。

パラメータ

- コンテンツ プロバイダー ID (必須)
- コンテンツ プロバイダー名 (任意)
- 説明 (任意)
- 主な連絡先名 (任意)
- 主な連絡先の電話番号 (任意)
- 主な連絡先の E メール (任意)

結果

コンテンツ プロバイダーの設定値が変更されたこと、およびコンテンツ プロバイダーの更新されたレコードの確認

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=modifyContentProvider&cp=<content_provider_ID>[&name=<name>][&description=<description>][&contactName=<primary_contact_name>][&contactPhone=<primary_contact_phone>][&contactEmail=<primary_contact_email>]`

deleteContentProvider

コンテンツ プロバイダーを削除します。

パラメータ

コンテンツ プロバイダー ID のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

コンテンツ プロバイダーが削除されたことの確認

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=deleteContentProvide
rs&cp=all|<cp_ID>,<cp_ID>,...
```

createWebSite

Web サイトを作成します。

パラメータ

- Web サイト名 (必須)
- コンテンツ プロバイダー ID (必須)
- オリジンサーバ (必須)
- 完全修飾ドメイン名 (FQDN) (任意)



(注) これは、要求を Content Engine にルーティングする Content Router によって使用される FQDN です。たとえば、<http://www.cnn.com> (オリジンサーバの FQDN) に対する要求が処理されている間、Content Router は FQDN <http://cdn.cnn.com> を使用して、その要求を Content Engine にルーティングできます。

- WMT 認証 (任意) — デフォルトは none です。
 - Basic
 - NTLM
- 説明 (任意)

結果

Web サイトが作成されたこと、および新規に作成された Web サイト オブジェクトの確認

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=createWebSite&name
=<website_name>&cp=<content_provider_ID>&origin=<origin server>[&fqdn=<fqdn>][&wmtAuth=<basi
c | ntlm>][&description=<description>]
```

modifyWebSite

Web サイトの設定値を変更します。

パラメータ

- Web サイト ID (必須)
- Web サイト名 (任意)
- コンテンツ プロバイダー ID (必須)
- オリジン サーバ (任意)
- FQDN (任意)
- WMT 認証 (任意)
 - なし
 - Basic
 - NTLM
- 説明 (任意)

結果

Web サイトの属性が変更されたことの確認、および変更された Web サイト オブジェクト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=modifyWebSite&web  
site=<WebSite_ID>[&name=<website_name>][&origin=<origin server>][&fqdn=<fqdn>][&wmtAuth=<no  
ne | basic | ntlm>][&description=<description>]
```

deleteWebSites

Web サイトを削除します。

パラメータ

Web サイト ID のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

Web サイトが削除されたことの確認

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ChannelApiServlet?action=deleteWebSites&web  
site=all | <website_ID>, <website_ID>, ...
```

ロケーション プロビジョニング API の動作

ロケーション プロビジョニング API は、LocationApiServlet と記述します。

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.LocationApiServlet...`

この servlet は、次の動作の 1 つまたは複数を実行します。

- [createLocation](#)
- [modifyLocation](#)
- [deleteLocation](#)

createLocation

指定のロケーションを作成します。

パラメータ

- ロケーション名 (必須)
- 親ロケーション ID (任意)
- 説明 (任意)

結果

新規に作成されたロケーション オブジェクト

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.LocationApiServlet?action=createLocation&location=<location_name>[&parent=<parent_ID>][&desc=<description>]`

modifyLocation

指定のロケーションを変更します。

パラメータ

- ロケーション ID (必須)
- ロケーション名 (任意)
- 親ロケーション ID (任意)
- 説明 (任意)

結果

変更されたロケーション オブジェクト

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.LocationApiServlet?action=modifyLocation&location=<location_ID>[&name=<location_name>][&parent=<parent_ID>][&desc=<description>]`

deleteLocation

指定のロケーションを削除します。

パラメータ

ロケーション ID (必須)

結果

指定のロケーションが削除されたことを示すメッセージ

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.LocationApiServlet?action=deleteLocation&location=<location_ID>
```

Content Engine プロビジョニング API の動作

Content Engine プロビジョニング API は CeApiServlet と記述します。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.CeApiServlet...
```

この servlet は、次の動作の 1 つまたは複数を実行します。

- [activateCe](#)
- [changeCeLocation](#)
- [deleteCe](#)
- [contentRoutingQuery](#)

activateCe

指定の Content Engine を有効にします。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- ロケーション ID (必須)

結果

変更された Content Engine オブジェクト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.CeApiServlet?action=activateCe&ce=<ce_ID>&location=<location_ID>
```

changeCeLocation

指定の Content Engine のロケーションを変更します。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- ロケーション ID (必須)

結果

変更された Content Engine オブジェクト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.CeApiServlet?action=changeCeLocation&ce=<ce_ID>&location=<location_ID>
```

deleteCe

指定の Content Engine を削除します。

パラメータ

Content Engine ID (必須)

結果

指定の Content Engine が削除されたことを示すメッセージ

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.CeApiServlet?action=deleteCe&ce=<ce_ID>
```

contentRoutingQuery

Content Router が選択する Content Engine を決定します。

パラメータ

- クライアント IP アドレス — IPv4 アドレスのみがサポートされます。
- Fully Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) の Web サイト — この FQDN は、Content Distribution Manager GUI の Request Routed FQDN フィールドで設定された FQDN と同じである必要があります。

結果

Content Router が選択した Content Engine の名前

構文

```
http://<crIpAddress>:8888/content-routing-query?clientIp=<clientIpAddress>&website=<website FQDN>
```



(注)

着信 API コール形式が正しくない場合は、コール要求は廃棄されます。ユーザ側では、タイムアウトまたは接続エラーが発生したり、エラーを記述する HTML ファイルが作成される場合があります。

Content Engine が検出された場合、Content Router は次のような応答を表示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1" ?>
<ContentRoutingApiResponse>
<Status> 0 </Status>
<Error> None </Error>
<CE> <name of ContentEngine> </CE>
</ContentRoutingApiResponse>
```

CE が検出されない場合や API コール処理にエラーがある場合は、ステータス要素は非ゼロに設定され、CE 要素は NotFound に設定されます。

次に、ステータス コードおよび対応するエラーを示します。

ステータス	エラー
1	不明なドメイン
2	カバレッジゾーン内に存在しません。
3	一時的に使用できません。
4	API 形式が正しくありません。

プログラム API の動作

プログラム API は ProgramApiServlet と記述します。

構文

https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet...



(注)

プログラム API の動作を実行するには、管理者レベルのアクセス権が必要です。

この servlet は、次の動作の 1 つまたは複数を実行します。

- [createProgram](#)
- [validateProgramFile](#)
- [assignChannel](#)
- [assignCEs](#)
- [assignDGs](#)
- [fetchNow](#)
- [modifyProgramFile](#)
- [unAssignChannel](#)
- [unAssignCEs](#)
- [unAssignDGs](#)
- [deletePrograms](#)
- [startSession](#)
- [pauseSession](#)
- [stopSession](#)

createProgram

HTTP を使用してプログラム ファイルをフェッチして検証し、入力に基づいてプログラムを作成します。プログラムが必要とされる場合、この動作はマルチキャストアドレスも予約します。プログラム用に予約されたマルチキャストアドレスは、プログラムが削除されるまで解放されません。

パラメータ

- プログラム ファイル URL (必須)
- 更新間隔 (必須) — 更新をチェックするためにプログラム ファイルにアクセスする間隔 (分単位)
- ユーザ ID (任意)
- ユーザ パスワード (任意)

結果

新規に作成されたプログラム レコード (プログラム ID を含む)。プログラム ファイルの検証が失敗した場合、エラー メッセージが戻されます。

[付録 A 「ACNS ソフトウェアのプログラム ファイル」](#)に、返される情報の DTD を示します。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=createProgram&file=
<program_file_URL>&updateInterval=<update_interval_minutes>[&user=<user_name>][&password=<pass
word>]
```

validateProgramFile

HTTP を使用してプログラム ファイルを取得し、それを検証します。

パラメータ

プログラム ファイル URL (必須)

結果

エラーがない場合は、なし。エラーがある場合は、エラーのリストが返されます。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=validateProgramFile
&file=<program_file_URL>
```

assignChannel

チャンネルをプログラムに割り当てます。チャンネルをプログラムに割り当てると、そのチャンネルに関わるすべての Content Engine がプログラムに関連付けられます。Content Engine チャンネルの割り当てを変更すると、プログラムも更新されます。

この動作は、[assignCEs](#) 動作と [assignDGs](#) 動作がすでに使用されている場合には使用しないでください。Content Engine またはデバイス グループがすでにプログラムに割り当てられている場合は、[assignChannel](#) 動作は失敗し、次のエラー メッセージが返されます。

```
<?xml version="1.0" ?>
- <programApi action="assignChannel">
  <message status="fail" message="Constraint Error: Can not associate a channel with
the playlist. Content engines are already assigned to the playlist." />
  <error code="3" message="Constraint Error: Can not associate a channel with the
playlist. Content engines are already assigned to the playlist." />
</programApi>
```

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- チャンネル ID (必須)

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=assignChannel&progr
am=<program_ID>&channel=<channel_ID>
```

assignCEs

Content Engine をプログラムに割り当てます。

この動作は、[assignChannel](#) 動作がすでに使用されている場合には使用しないでください。チャンネルがすでにプログラムに割り当てられている場合、[assignCEs](#) 動作は失敗し、次のエラーメッセージが返されます。

```
<?xml version="1.0" ?>
- <programApi action="assignCEs">
  <message status="fail" message="Constraint Error: Can not assign content engines to the playlist. The playlist is already associated with a channel." />
  <error code="3" message="Constraint Error: Can not assign content engines to the playlist. The playlist is already associated with a channel." />
</programApi>
```



(注) ライブプログラムはライブチャンネルに割り当てる必要があるため、プログラムがライブイベントを表している場合、この動作は失敗します。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- Content Engine のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

更新されたプログラム レコード

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=assignCEs&program=<program_ID>&ce=all | <CE_ID>, <CE_ID>, ...`

assignDGs

デバイス グループをプログラムに割り当てます。

この動作は、[assignChannel](#) 動作がすでに使用されている場合には使用しないでください。チャンネルがすでにプログラムに割り当てられている場合、[assignDGs](#) 動作は失敗し、次の警告メッセージが返されます。

```
<?xml version="1.0" ?>
- <programApi action="assignDGs">
  <message status="fail" message="Constraint Error: Can not assign device engines to the playlist. The playlist is already associated with a channel." />
  <error code="3" message="Constraint Error: Can not assign device engines to the playlist. The playlist is already associated with a channel." />
</programApi>
```



(注) ライブプログラムはライブチャンネルに割り当てる必要があるため、プログラムがライブイベントを表している場合、この動作は失敗します。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- デバイス グループのリスト (必須)

一部のデバイス グループには Content Router が含まれている場合があるので、キーワード **all** は使用できません。

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=assignDGs&program=  
=<program_ID>&dg=all | <DG_ID>, <DG_ID>, ...
```

fetchNow

HTTP を使用して即時にプログラム ファイルを取得し、プログラムを更新します。

パラメータ

プログラム ID (必須)

結果

エラーがない場合は、なし。プログラム ファイルの検証に失敗した場合は、エラー メッセージが表示されます。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=fetchNow&program=  
<program_ID>
```

modifyProgramFile

プログラム ファイルの設定値を変更します。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- プログラム ファイル URL (任意)
- 更新間隔 (任意)
- ユーザ ID (任意)
- ユーザ パスワード (任意)

パラメータ値を指定しない場合、元のプログラム ファイルの設定値は変更されません。パラメータ値を削除する必要がある場合は、“空ストリング”メカニズムを使用して既存の設定を削除します。たとえば、プログラム ファイルからユーザ ID を削除するには、**modifyProgramFile** 動作を使用する際に、ユーザ ID パラメータを空ストリング (`user=""`) に設定します。



(注)

プログラム ファイル URL を空ストリングに設定することはできません。プログラム ファイル URL を null に設定すると、他の設定値がすべて削除されます。

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=modifyProgramFile&
program=<program_ID>[&file=<program_file_URL>][&updateInterval=<update_interval>][&user=<user_
name>][&password=<password>]
```

unAssignChannel

指定のプログラムからチャンネルを削除します。

この動作は、[unAssignCEs](#) 動作と [unAssignDGs](#) 動作がすでに使用されている場合には使用しないでください。Content Engine またはデバイス グループがすでにプログラムから割り当てを解除されている場合、unassignChannel 動作は正常に実行されますが、チャンネルがプログラムに割り当てられていないことを示す警告が表示されます。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- チャンネル ID (必須)

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=unassignChannel&pr
ogram=<program_ID>&channel=<channel_ID>
```

unAssignCEs

指定のプログラムから Content Engine を削除します。

[unAssignChannel](#) 動作がすでに使用されている場合は、この動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムから割り当てを解除されている場合、unassignCEs 動作は正常に実行されますが、Content Engines がプログラムに割り当てられていないことを示す警告が表示されます。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- Content Engine のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=unassignCEs&progra
m=<program_ID>&ce=all | <CE_ID>, <CE_ID>, ...
```

unAssignDGs

指定のプログラムからデバイス グループを削除します。

unAssignChannel 動作がすでに使用されている場合は、この API 動作を使用する必要はありません。チャンネルがすでにプログラムから割り当てを解除されている場合、**unassignDGs** 動作は正常に実行されますが、デバイス グループがプログラムに割り当てられていないことを示す警告が表示されません。

パラメータ

- プログラム ID (必須)
- デバイス グループのリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

更新されたプログラム レコード

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=unassignDGs&program=<program_ID>&dg=all | <DG_ID>, <DG_ID>, ...
```

deletePrograms

プログラムを削除します。

パラメータ

サービス タイプ (TV-out、エクスポート、WMT、RealMedia、Cisco Streaming Engine など) またはプログラム ID 別のプログラムのリスト、またはキーワード **all** のいずれかが必須

結果

なし

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.ProgramApiServlet?action=deletePrograms&program=all | id=<program_ID>, <program_ID>, ... | type=<tvOut | export | wmt | real | ciscoStreamingEngine>
```

startSession

クライアントが **Play** を選択するか、またはコンテンツがストリーミングを開始する際に、HTTP GET 要求を生成します。

パラメータ

- サブスクリバまたはクライアントの IP アドレス
- コンテンツ ストリームのサブスクリバまたはクライアントの宛先ポート
- ストリームを配信する Content Engine の IP アドレス
- Content Engine のポート
- 認証時に Camiant CDN Application Manager Authorization モジュールから返された要求 ID

結果

200 Ok — 要求は成功しました。

400 Bad request — 要求パラメータが不完全であるか、または無効でした。QoS 要求は失敗しました。

500 Internal server error — 内部エラーが発生しました。QoS 要求は失敗しました。

構文

/cdnam/startSession.do?subip=x.x.x.x&subport=n&ceip=y.y.y.y&ceport=m&rid=r

pauseSession

クライアントが **Pause** を選択すると、HTTP GET 要求を生成します。

パラメータ

認証時に Camiant CDN Application Manager Authorization モジュールから返された要求 ID

結果

200 Ok — 要求は成功しました。

400 Bad request — 要求パラメータが不明です。QoS 動作は発生しませんでした。

500 Internal server error — 内部エラーが発生しました。QoS 要求は失敗しました。

構文

/cdnam/pauseSession.do?rid=r

stopSession

クライアントが **Stop** を選択するか、またはコンテンツがストリーミングを停止すると、HTTP GET 要求を生成します。

パラメータ

認証時に Camiant CDN Application Manager Authorization モジュールから返された要求 ID

結果

200 Ok — 要求は成功しました。

400 Bad request — 要求パラメータが不明です。QoS 動作は発生しませんでした。

500 Internal server error — 内部エラーが発生しました。QoS 要求は失敗しました。

構文

/cdnam/stopSession.do?rid=r